

BCC CQ1 (2)

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Repeated occurrence of basal cell carcinoma of the skin and multifailure survival analysis: Follow-up data from the Nambour Skin Cancer Prevention Trial	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌の多発と multifailure survival analysis : Nambour Skin Cancer Prevention Trial からのフォローアップデータ	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ1-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（ IV ）	
	Pubmed ID	15800267	
	医中誌 ID		
	雑誌名	American Journal of Epidemiology	
	雑誌 ID		
	巻	161	
	号	8	
	ページ	748-754	
	ISSN ナンバー	pISSN: 0002-9262 eISSN: 1476-6256	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2005	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Pandeya N	Queensland Institute of Medical Research
	その他著者 1	Purdie DM	
	その他著者 2	Green A	
	その他著者 3	Williams G	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
その他著者 6			

一次研究の 8項目	目的	サンスクリーンの使用による基底細胞癌の多発の予防効果を検証する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	オーストラリアの複数施設	
	対象者	健常人 1621 名	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (13)	
	介入 (要因曝露)	サンスクリーン連日使用と未使用群にランダム化割り付け	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
	1	基底細胞癌の初回発生	1.主要 2.副次 3.その他 (1)
2	基底細胞癌の二次発生	1.主要 2.副次 3.その他 (1)	
主な結果	Multifailure survival analysis として、Andersen-Gill、Wei-Lin-Weissfeld、Prentice-Williams-Peterson の 3 種類のモデルを用いた。サンスクリーンの使用は基底細胞癌の初回発生までの期間には有意な影響を与えなかった (ハザード比 1.04 [0.79-1.45])。初回発生以降の二次発生については、Andersen-Gill モデルではサンスクリーン使用群の方が非使用群に比べて低い発生リスクを示したが、統計学的に有意ではなかった (ハザード比 0.82 [0.59-1.15])。同様に、Wei-Lin-Weissfeld marginal-hazards と Prentice-Williams-Peterson gap-time models でも有意差には至らないものの、サンスクリーン使用群において基底細胞癌の二次発生リスクは減少傾向を示した。		
結論	有意差は得られていないが、サンスクリーンの使用は基底細胞癌の二次発生の予防に寄与している可能性が示された。また、繰り返し起こるイベントに影響する危険因子の解析には multievent analysis が有用であることが示された。		
備考			
レビューワー コメント	レビューワー氏名	竹之内辰也	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) オーストラリアの皮膚癌多発都市の一つである Nambour で行われた大規模な介入研究である Nambour Skin Cancer Prevention Trial の結果について、さらに詳細に解析した報告である。1999 年に Lancet に報告された trial の内容は、4.5 年の観察期間の範囲ではサンスクリーン投与とベータカロチン内服のいずれも、非投与群と比較して基底細胞癌の罹患率に有意差は認めないとするものであった。一次アウトカムは初回発生であるが、期間中の基底細胞癌発生数をアウトカムとしてもやはり有意差は得られていない。しかし、この trial において基底細胞癌が発生した住民のうち半数以上は新たな基底細胞癌が二次発生しており、それらを包括した解析法として著者らは 3 種の multifailure survival analysis を用いている。	